

要説宮城の郷土誌

仙台市民図書館 編
編者 種部金蔵

要説宮城の郷土誌

仙台市民図書館 編

S01
セ
C

五ノ五

書庫

仙台市民図書館・郷土



4810161168

定価 2,300 円

要説宮城の郷土誌

仙台市民図書館 編
編者 種部金蔵

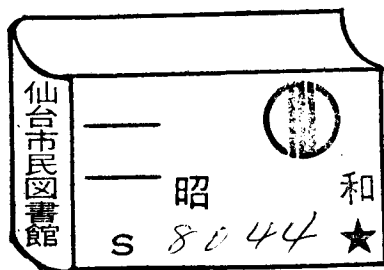


序

「知」への欲求は無限である。情報化社会は、一見「未知の領域」の克服とその収斂を予測させるが、現実にはむしろ埋もれた未知を掘り起こし、あるいは新たな未知を創出する。このゆえに人びとの「知」への欲求はますます広範多様さを加え、またより深淵に及ぼうとして、尽きるところを知らない。図書館はこのような欲求を最も切実に感じ取り、敏感な対応に迫られている。レファレンスというまだ一般には耳馴れない活動が図書館に欠かせない分野として市民権を得つつあるのも、市民へのきめ細かな対応の一表現であり、開設20年の仙台市民図書館のそれはいまや全国的な評価を得るに至っている。ひとえに市民のあくなき学習意欲と、担当の種部金蔵氏のひたむきな熱情によるものである。

先に20年の実績の中から「郷土に関する事項」を集録、「文書による郷土的なレファレンス質問に対する回答事例第一」として一部のかたに配布し好評を得た。この度各方面からの熱望により、これを改題の上で「要説宮城の郷土誌」とし公刊することになった。

本書がレファレンスの先駆となり、同時に市民の郷土への関心をさらに深める手掛かりとなることを期待してやみません。



仙台市教育委員会

教育長 藤 井 黎

目 次

1. 林子平の遺書	1
2. 林子平の墓について	5
3. 引地正右のこと	6
4. 小野清について	8
5. 真壁の平四郎のこと	10
6. 江戸時代の郷土的な俳書	13
7. 仙台叢書について	15
8. 養賢堂版について	16
9. 伊達騒動（寛文事件）に関する図書資料	19
10. 仙台領の秤座	20
11. 仙台地方における最初の電燈	22
12. 松島パークホテル	25
13. 昔県北地方に降った赤い雪	27
14. 笹かまぼこの起り	28
15. 仙台の七坂八小路	29
16. 仙台七夕の由来	31
17. 工兵隊が架橋した旧仲ノ瀬橋	37
18. 戊辰戦争に奥羽越列藩同盟のフランス陸軍教官を雇入れのことについて	39
19. 戊辰戦争当時東北地方に出没したスネル兄弟について	42
20. 個々の家の系図	48
21. 「桜ヶ岡」の「ヶ」を「が」と読ませるのは何故か	50
22. 「西風」（地名）の読み方	53
23. 長者荘の町名の由来	55
24. 関上の地名の由来	57
25. 徳川時代に「藩（仙台藩）」という公称はなかった	59
26. 寛文事件の「寛文」の正しい読み方	62
27. 「縦ノ木」の表記の可否	62
28. 伊達家の奉行職	64
29. 「伊達騒動記」（山路愛山）の出版事項	67
30. 原田家（甲斐）の子孫について	68

31. 無尽燈とは	70
32. 伊達家の紋章について	72
33. 仙台暦第1号の標題	76
34. 一両一方とはどういうことか	79
35. 塵芥集とは	82
36. 高力左近は切支丹大名だったか	83
37. 大泉茂基の略歴	85
38. 名取春仲のこと	86
39. 菅井梅関の墓はどこにあるか	88
40. 山田孝雄の句碑	90
41. 仙台市内にある芭蕉句碑	91
42. 戦前にあった芭蕉の辻の里程元標	94
43. 天守台の昭忠碑について	95
44. ロシア捕虜収容に関する資料	97
45. せんだいはぎとみやぎのはぎとの違い	98
46. 県花みやぎのはぎについて	100
47. 公安条例	101
48. 戦前の宮城県民歌	102
49. 花旗とは何か	107
50. 「男児立志出郷関」の全詩とその作者	109
51. 真山青果の「焰の舞」の出版事項	111
52. 大石内蔵助の子孫の在仙説	114
53. 宮城県内に新羅郷があるか	117
54. 中暦とは何か	119
55. 「東華」の語の出典	122
56. 皆鶴姫伝説のあるところ	124
57. 九合水とは何か	126
58. 時刻を表記する「字」と「時」について	127
59. 谷風一初代・2代	130
60. 仙台達磨を松川達磨と呼ぶのは	132
61. 仙台方言の「えずい」「ひじる」「たす」の意味	134
62. こけしの語源と素材	135
63. 刀工国包の名の読み	138

64.	「陸奥の吹雪」について	141
65.	日本フィギュア・スケート発祥の地	145
66.	仙台みち	147
67.	「松窓乙二」はどう読むのが正しいか	149
68.	白幡村はどこにあるか	151
69.	杜の都といったのはいつからか	153
70.	仙台の正午のドン	157
71.	「重判」とは何か	160
72.	石川左京とは	162
73.	相沢三郎・村中孝次の墓はどこにあるか	164
74.	「てんよ」は仙台の方言か	165
75.	仙台の街路樹の始	167
76.	「五常訓」は政宗の作かどうか	168
77.	「伊達」の正しい読み方	171
78.	明治 15 年の米価	175
79.	羽柴越前守とは	178
80.	けたいかみ	182
81.	「陸奥の吹雪」の曲が「ヨナ抜き」とはどのようなことか	187
82.	曾孫の子、孫を仙台では何というか	190
83.	いつ頃から「青葉山」と呼び始めたか	191
84.	公儀使とは如何なる役職か	196
85.	雪形六出の構え	198
86.	仙台城の本丸について	202
87.	「冥想の松」か「瞑想の松」か	208
88.	大進歴々とは	212
89.	伊達政宗の遣欧使節船の船名・船型	215
90.	仙台北下に起った二大騒動	219
91.	町名の「〇〇まち」と「〇〇ちょう」	223
92.	遣欧使節船の「松右衛門帆」はどのようなものか	226
93.	「加護坊山」の表記はどうか	227
94.	「代数有之御百姓」「品替御百姓」「古人」とは何か	229
95.	岡千仞の歿年は大正何年か	232
96.	寺院配置は防衛のためのものだったかどうか	238

97.	「実録千代萩」の「実録」とは「真相」の意味かどうか	240
98.	仙岳院について	243
99.	旧北根村は無人の村であった	246
100.	仙台三十三か所観音	250
101.	「はで」とはどういうことか	256
102.	「アメリカ及甚」とはどんな人物か	258
103.	旧仙台領と南部領との境塚	261
104.	「しろばか」について	265
105.	どんと祭の起原について	268
106.	「やまい送り」の行事	270
107.	與兵衛沼について	276
108.	仙台の大橋殉教はいつか	279
109.	明治 29 年の電車の絵	284
110.	養賢堂の川内支校	285
111.	仙台市役所の所在地	289
112.	「一重伸」「二重伸」「扇返し」はどう読むのか	292
113.	「荒城の月」はどの詩集の中にあるか	294
114.	「若林」の地名について	297
115.	楽兵隊の隊名が額兵隊となったのは	303
116.	「すず」とは何か	306
117.	日本橋の下の水	309
118.	伊達政宗が藤次郎と称したのは何故か	312
119.	臥龍梅のこと	315
120.	「雪車出」とは	319
121.	「金蛇水神社」の読み方	320
122.	伊達政宗の母公は最上義光の姉か妹か	323
123.	伊達政宗の法名	331
124.	「大崎耕土」の「耕土」とは	336
125.	「櫻臺」は「仙臺」のことか	348
126.	大橋の擬宝珠の銘	350
127.	〇盃（杯）とはどのような拵目か	353
128.	滝沢神社境内の芭蕉句碑について	355
129.	仙台鮪とは	359
130.	「十八成浜」「十八鳴浜」は「くくなりはま」か「くぐなりはま」か	362